



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

◆特集◆ 全国学力・学習状況調査が実施されました！！

4月19日（火）、小学校第6学年と中学校第3学年を対象とした「全国学力・学習状況調査」が円滑に実施されました。該当する児童生徒が在籍する県内全ての公立小中学校（小学校370校、中学校157校）及び、県立特別支援学校（小学部2校、中学部2校）が参加しました。

今後、自校採点等をとおして児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、早期からの授業改善のPDCAサイクルを確立していきましょう。

「全国学力・学習状況調査」が持つ意味

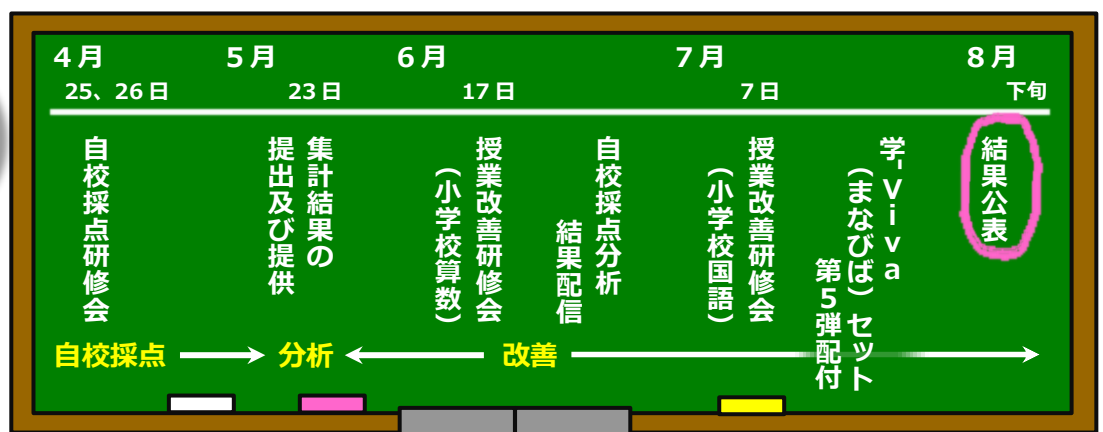
～一人ひとりの課題を把握し、
次の指導につなげるために～

調査問題には、問題ごとに学習指導の改善・充実に向けたメッセージがあります。

- 学力を調査することのみが目的ではなく、結果から見えてくる課題克服に向けた「指導改善」につなげることが狙い
- 小学校5年生、中学校2年生までに**学習した内容全て**から出題
- 調査で見ようとしているのは、小中学校の全ての**教育活動における課題**
- 調査該当学年の児童生徒のためだけでなく、**全ての学校の児童生徒のため**に実施
- 小学校5、6年生の担任や特定の教科担任のためだけでなく、全ての学年の教職員のために実施
- 他教科や実生活に関連して出題している場面は、実生活（学校運営等）において活用できる場面を想定したもの
- A問題で求めているのは、**実生活で常に活用できる**ことが望ましい事項
- B問題で求めているのは、知識・技能等を**実生活に活用する力**
- 単なる調査問題ではなく、学習指導上特に重視される点や身につけるべき力を**具体的に示すメッセージ**となる問題



今後の
スケジュール
(予定)



～ 放課後子ども教室いきいきキッズ応援団SEKI ～

「放課後子ども教室いきいきキッズ応援団SEKI」は、子どもたちに楽しく元気に活動できる場を提供し、様々な体験活動を通して、豊かな感性や課題の解決力、創造力、健康な身体を持つ子どもたちを育てていくことを基本理念に、地域全体で子どもたちの居場所づくりの活動をしています。

平成27年度の「優れた『地域による学校支援活動』推進」で文部科学大臣表彰を受けました。

◆ **活動内容** ◆ 学校、放課後児童クラブ、民生委員、児童委員、各種団体と連携しながら活動しています。年間130日ほど開催しており、毎回約30名の子どもたちが参加しています。



【小学校と連携】
「田んぼづくり教室」



【保護者と協力】
社会体験プログラム
「きっぷを買って汽車に乗ろう」



【各種団体と連携】
エアー式プラネタリウム
を使った専門的な星の観測

● 体験学習 ●

● 学習支援 ●

「せきっこ教室」

- ◆ 学校の宿題を通して学習支援
- ◆ 様々な講座教室
 - ・ 関宿かるた
 - ・ 昔あそび
 - ・ 読み聞かせ
 - ・ ランプシェイドづくり
 - ・ ペットボトルロケット
 - ・ 料理教室

毎月、学校を通じて子どもたちに行事計画書を配付



保護者や地域住民と協力!



子どもたちがいきいきと育っていくよう応援しています!

● ● コーディネーター 不破 為和さんより ● ●

学校生活や家庭生活にはない時間を子どもたちが自由に有意義に過ごせたらという思いと、私たちが子どもの頃、広場などでお年寄りから教えてもらった遊びやきまりごと、友達や地域とのつながりの大切さなどを伝えています。このことを指導者全員が共通の認識として活動しています。



第1回

平成28年度
みえスタディ・チェックが実施されました

対象：小学校第4学年、第5学年
中学校第1学年、第2学年
教科：国語、算数・数学、理科



児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育むことを目的として、4月19日(火)平成28年度第1回みえスタディ・チェックが実施されました。

各学校において、児童生徒の解答を自校採点することにより、学習内容の定着状況を把握するとともに、結果を分析し、教育活動の充実と授業改善のためのPDCAサイクルの確立に活用してください。



◆ 円滑な実施に向けて ◆

● ● 「ルビ振り児童生徒用解答解説」 ● ●

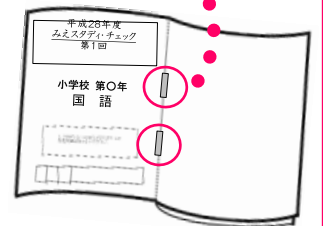
希望があった学校に対して、児童生徒が自ら主体的に課題解決が行えるよう、ルビ振り問題用紙及び解答用紙に加えて、ルビ振り児童生徒用解答解説を配付しました。

● ● 「解説資料(教師用)」 ● ●

自校採点后、早期からの授業改善に活用していただけるよう、また「学級数分の解説資料を配付してほしい」という要望にもお応えして「学級数+1部」配付しました。

- 子どもたちが集中して取り組むことができるように、**問題用紙を中綴じ・ホッチキス綴じ**にしました。

- 「合理的配慮」の視点から、**問題等の拡大版**を提供しました。



平成28年度第2回みえスタディ・チェックは、平成29年2月1日(水)に小学校第5学年、中学校第2学年を対象に実施(教科：国語、算数・数学)します。

「平成 28 年度全国学力・学習状況調査自校採点にかかる採点研修会」を実施！

4月25日、26日の両日、のべ4会場において「平成28年度全国学力・学習状況調査自校採点にかかる採点研修会」を実施しました。研修会には、「わかる授業」促進事業実践推進校担当者や小中学校管理職、指導教諭、市町等教育委員会担当者、希望する学校の教諭等あわせて332名が参加しました。

県教育委員会の指導主事より、「自校採点の意義」や「採点作業について」説明がありました。

参加者は、児童生徒の解答がどの類型に入るかについて「全国学力・学習状況調査解説資料*1」や「学習指導要領解説」を根拠に、グループやペアで意見を出し合い、採点を進めていました。



授業改善の方法が
見えてくる！

Let's 自校採点 !!

クラスの課題が
見えてくる！

～ 自校採点 DE 授業改善！ ～

●●● 自校採点のねらい ●●●

自校採点をすることにより、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善を図り、早期からの授業改善のPDCAサイクルの確立を促進する。

◆◆◆ 自校採点 体制 (例) ◆◆◆

◆ 当該学級担任が採点

- 担任が自分の学級の児童生徒の実態を詳しく把握することができる
- 担任が児童生徒に対して、的確な個別指導をすることができる

◆ 学年部、教科担当で分担して採点

- 学年部で学年の児童生徒の実態を共通認識することができる
- 当該学級担任の負担が軽減される

●●● 自校採点のメリット ●●●

- 子どもたちの解答を「解答類型」に分けていくことをとおして、「問題」を深く研究することができるのと同時に、「付けたい力」が見えてくる。
➡ 学習指導要領で求められている力の理解が深まる
- 子どもたちの正答や誤答の傾向から、自分の授業を振り返ることができる。
➡ 学習指導要領に基づく授業の実践をめざし、授業改善に生かすことができる



◆ 学校全体で分担して採点

- 全教職員が調査に主体的に関わることができる
- 当該学級担任の負担が軽減される

子どもたちが
「学ぶ喜び」
「わかる楽しさ」を
実感できる授業を！



自校採点をとおして、学習指導要領の内容を確実に理解し、学習指導要領に基づく授業の実践につなげていきましょう。

*1 解説資料は、5月中旬に各学校に配付されました。

また、文部科学省のHP (<http://www.nier.go.jp/16chousa/16chousa.htm>)からもダウンロードできます。

解説資料は、全国学力・学習状況調査の実施後、学校等が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成されているものです。

解説資料には、問題作成の基本理念、問題作成の枠組み、問題の概要等について詳しく書かれているだけでなく、調査問題作成に当たって、調査問題一覧表、調査問題の解説（出題の趣旨、解説、学習指導に当たって等）についても書かれています。

【中学校数学 解説資料 21、22、24 ページより】（抜粋）

数学 A 2 文字式の計算とその利用

設問 (2) 「 $(2x+5y)+3(x-2y)$ を計算しなさい。」

1. **出題の趣旨** 文字式の計算ができるかどうかをみる。
 設問 (2) は、整式の加法と減法の計算をする問題である。整式の加法と減法は、方程式を解いたり、文字を使って数や図形の性質を説明したりする際に必要であることから出題した。

2. 解説

● **趣旨** 整式の加法と減法の計算ができるかどうかをみる。

● **学習指導要領における領域・内容**

〔第2学年〕 A 数と式

(1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

ア 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。

● **評価の観点** 数学的な技能

● **解答類型**

問題番号	解答類型	正答
2 (2)	1 $5x-y$ と解答しているもの。	◎
	2 $5x+3y$ と解答しているもの。	
	3 $5x+11y$ と解答しているもの。	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものです。

正答・予想される誤答等

● **誤答について** 誤答例として、「 $5x+3y$ 」という解答が想定される。これは、 $3(x-2y)$ を $3x-2y$ として計算したと考えられる。

(参考) ● **関連する問題**

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H19A 2 (1)	$(2x+7y)-2(x-3y)$ を計算する	73.5%	P.20~P.23	P.146~P.147
H24A 2 (1)	$(7x+5y)-(5x+2y)$ を計算する	78.5%	P.19~P.22 P.24~P.25	P.216~P.218
H25A 2 (1)	$2(5x+9y)-5(2x+3y)$ を計算する	82.1%	P.19~P.20 P.24	P.29~P.30

▶ 調査問題ごとに
出題の意図、把握しようとする力、場面設定などについて記述しています。

▶ 設問ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

▶ 関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

▶ 設問に関する評価の観点を示しています。

▶ 一人ひとりの児童生徒の解答状況を把握できるように、設問における解答類型を示しています。

▶ 予想される誤答についての解説を適宜記述しています。

▶ 過去の関連する問題、解説資料、報告書、授業アイデア例等を記載しています。

